

防 除 情 報

平成17年3月30日
長崎県病害虫防除所長

平成16年度病害虫発生予察 防除情報第15号

麦類赤かび病の防除について

3月25日付けの気象予報によると向こう1か月の気温は平年並か高く、降水量は平年並と予想されていますが、出穂期以降の降雨次第では本病の発生が多くなることも予想されますので今後の気象の推移に十分留意して防除指導の徹底をお願いします。

記

防除対策

- 1) 本病が発生すると収量・品質が低下し、赤かび病菌がつくるかび毒(DON等)に汚染されるので防除を徹底する。
- 2) 防除薬剤は予防効果が主体なので適期防除に努める。開花最盛期に1回目、その7~10日後に2回目の防除を行うと効果が高い。また、麦の生育ステージは今後の気象や圃場によって異なってくるので、圃場の見回りを徹底し生育ステージを十分把握した上で防除を行う。

参考 各品種の出穂期(県総合農林試験場、諫早市貝津町)

麦 種	品 種 名	出穂期(平年値)
二条大麦	ニシノチカラ ニシノホシ	3月31日 3月31日
裸麦	御島裸 イヌパンボシ	4月7日 3月31日
小麦	シロガネコムギ チクゴネコムギ	4月8日 4月8日

注) 出穂期はH12~H16の平均値